

国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

Rotary



週報

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場  
ロータリークラブ  
モバイルサイト

第2589回 例会プログラム

- 例 会 場／東山荘講堂
- 開 会 点 鐘／12：30 ●国 歌 斉 唱
- ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／年次総会（12：25～）  
第2回クラブ協議会 全員

会 員 慶 事

- 会員誕生日／12月7日 勝又重春君  
12月7日 橋本喜市君
- 皆 出 席／11月28日 勝又重春君（ロータリー歴35年）  
12月1日 勝又英和君（ロータリー歴8年）  
12月2日 秋田 敬君（ロータリー歴15年）

会 長 挨 拶

勝 又 博 文



災害や事故が起こるまで気づきませんが、この国の「インフラの老朽化」は見えないところで確実に進行しています。かつて山梨の中央高速笹子トンネルで起きた天井板崩落事故は、金属ボルトの老朽化が原因でした。今年9月に発生した台風15号・19号では、千葉で2,000本以上の電柱が倒壊・破損し、60万軒以上で停電しましたが、老朽化も要因の一つでした。また、予想を超える大雨で堤防が決壊し甚大な被害も発生しています。各地で、橋の崩落、道路の陥没、河川の氾濫などが起きはじめています。

日本のインフラは、高度成長期の1970年代以降、各地で整備されましたが、一般に、インフラは50年経つと破損や不具合が生じる可能性が高くなると言われています。つまり2020年代から、日本のインフラは急速に老朽化が進むこととなります。

老朽化したインフラの整備・補修に必要な予算は今後50年で450兆円。年間9兆円ほど必要といいますが、緊縮予算で苦しむ国が、そんな巨費を捻出することは難しいことで、そのまま放置され続けることになります。さらに、修繕技術を持った人たちが今後続々と退職し、土木技術者の不足も大きな問題となっています。これはすなわち、日常的に命に関わるような危機と隣り合わせで生活をしなければならないということです。今後も、安心・安全な市民生活のためにはイ

ンフラの再整備は急務であると言えます。

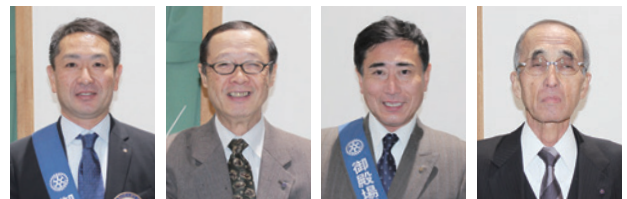
国土交通省が主催する『社会資本整備審議会』でも、「最後の警告－今すぐ本格的なメンテナンスに舵（かじ）を切れ」との副題がついたこの提言書がまとめられました。全国の橋の7割以上を管理する市町村では慢性的な財政難に陥っており、市町村に頼る修繕は困難とえます。

こうしたことを踏まえて、国は2014年『インフラ長寿命化基本計画』を策定し動き出しています。この計画のもと、メンテナンス体制を強化し、地方公共団体を支援することとし、予防保全を含め、AI（人工知能）やIoT（Internet of Things）などの先端技術を駆使しつつ、産・官・学・民が総力を結集し動き始めています。

今から2000年以上前、共和政ローマ期の政治家のカエサルは「多くの方は、見たいと欲する現実しか見ていない」という言葉を残しました。現代の日本人は、できれば見たくないこの数々の現実を直視し、英知を結集してこの課題を解決していかなければなりません。日本の力量が試されています。



会長挨拶用  
QRコード



司 会 菅澤隆博君      ソングリーダー 秋田悦夫君      出席報告 林 則夫君      皆出席 鈴木榮一君



ROTARY CONNECTS  
THE WORLD  
ロータリーは世界をつなぐ

次 回  
12月12日の  
例 会

★東山荘講堂  
★18：00点鐘  
★クリスマス家族会  
親睦活動委員会

# 小山町の進めるまちづくり



～おやまの  
いまとみらい～

小山町長

池谷晴一様

## 【小山町の一般会計】

### ・予算額

令和元（平成31）年度は152億3千万円。これは7年前の平成24年度予算の約2倍となっています。

### ・歳入予算

小山町のふるさと納税の受付は、令和元年6月から中止となりました。これにより、収入として見込む10億円が足りなくなる見込みですが、寄付金を使った小中学校の給食の無料化やタブレット端末の導入、町道の整備などの事業は基金を取り崩すなどして継続する予定です。

## 【おやまの挑戦】

### ・「内陸のフロンティア」を拓く小山町

静岡県では、巨大地震に備え、事前復興の視点を取り入れた「ふじのくに」のフロンティアを拓く取り組みにより、地域産業の活性化や自然と調和した新しいライフスタイルの実現などを目指しています。

県は、取り組みの拡大に向け、事業の具体化を強化する「ふじのくに」のフロンティア推進区域」制度を創設し、県内78区域を指定しました。小山町は8つの「推進区域」の指定を受け、事業を展開しています。

⇒小山町の「内陸フロンティア推進区域」

小山PA周辺、湯船原地区、足柄SA周辺、富士小山わさび平地区ほか

### ・「働く場所づくり」

2020年度は、町内に新東名高速道路が開通し、また東京オリンピック・パラリンピックが開催される大きな節目の年です。町では、2020年度を一つの目標に、これらの推進区域での事業の具体化により、産業振興や雇用の創出、定住人口の拡大を図ります。そして、町内企業との防災協定締結などを大規模災害への備えにつなげ、町民の皆さんが安全・安心に、いきいきと暮らせる小山町を目指していきます。

⇒「富士山麓フロンティアパーク小山」

“富士山を借景にした森に佇む工業団地”をコンセプトとして整備された団地

近隣に認定こども園が計画され、子育て世代も安心して働くことができます。

### ・「おやまが作る新エネルギー」

湯船原地区では、災害に強く持続可能な再生可能エネルギー（木質バイオマス、太陽光）を活用して、工業団地、次世代施設園芸、資源循環型林業施設、発電所を整備しました。

⇒木質バイオマス … 「森の金太郎発電所」

⇒太陽光 … 「DREAM Solar ふじおやま」

## 【おやまでオリンピック・パラリンピック】

東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技ロードレースが小山町で開催されます。世界文化遺産「富士山」の麓がレース会場に決まったことで、国内外から多くの来訪者が見込まれます。小山町では、来訪者のおもてなし、魅力発信、国際交流、地域経済の発展などを推進するため、“官民一体”で機運醸成に取り組んでいきます。

## 11/28の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	50名	42名	84%	100%

### 欠席者(8名)

秋田 敬君・林 準君・井上 元君  
神谷高義君・勝又 淳君・勝又重春君  
勝又安彦君・長田富夫君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

## 11/14のメーキャップ

11月4日	地区大会	渡辺修司君
11月8日	裾野RC	鈴木善明君
11月25日	大阪Eクラブ	秋田 敬君

